



Kathy Lien,
Director of Currency Research

gftforex.com
One World Financial Center, 200 Liberty Street
22nd floor, New York, NY 10281

BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 02.16.12
(2012年2月17日発行)

ECBがユーロを救済する巧妙な手段

欧州中央銀行 (ECB) のお陰で、EUR/USD の終値が 1.30 を割り込むことは回避されたが、現段階ではあくまでメディア報道によるものであり、当局者による正式な発表は一切行われていない。ギリシャ救済に関連して誰もが抱く疑問の一つに、ECB が保有するギリシャ国債の問題がある。ECB がこれを取得価格でギリシャに売り戻すことにより、実質的に同国による債務返済の減額を図るのではとの憶測があった。他にも欧州金融安定化基金 (EFSF) に対し、取得原価で保有国債を移転する方法も考えられていた。独紙ディ・ヴェルトが今日報じたところによれば、ECB は保有ギリシャ国債を新発債と交換し、それによって得られる将来の利益を EU 各国政府に分配する。今のところ確証は得られていないが、同行関係者は匿名で月曜日にも正式発表があると述べている。受領した利益の処分方法は各国政府に委ねられるが、おそらくは第二次ギリシャ救済の資金源として利用されるものと期待される。もちろんギリシャにとっては ECB 保有国債の完全償却が最適であるが、彼らには ECB から提示された案を呑む以外に選択肢はない。EUR/USD の今日の動きを見ても、ギリシャ救済に向けて投資家が ECB にかける期待の大きさが伺い知れる。今週ユーロには何度も反落場面があったが、好いニュースが流れるたびに、報道の信憑性が実証されていない場合にも、投資家はユーロの買い戻しに躊躇しなかった。来る月曜日はユーロ圏にとって重要な日となる。債券交換の完了 (ECB は行動計画の正式発表を先行させなければならない) の他にも、ユーログループが重要な決定を行う。ユンケル議長は合意到達を可能としているが、既に何度も肩透かし食らった市場は、極めて懐疑的である。にも拘らず合意到達は近づきつつあり、ドイツでは月曜にも救済パッケージの議会通過が期待されている。もちろんそれですべてが解決するわけではない。EU は 3 月 2 日に臨時サミットを開催し、救済資金の増額について協議する。景気、雇用、財政緊縮策も討議されるが、最近ではギリシャの話題なしに会議を開催することは不可能である。短期的には 1.30 が EUR/USD の底値として受け入れられたようだ。多くの中銀は金融政策の拠り所として「経済指標」を挙げるが、さしずめ EUR/USD の運命は「ニュースの見出し」が決定する。もし EU が月曜日に救済の合意に漕ぎ着けば、EUR/USD は上昇を加速するだろう。2 月 20 日はユーロにとって裁決の日であり、当社としては、市場が再び失望させられることのないよう祈るばかりである。

ギリシャに関する多くの不確実性とは裏腹に、米国では (少なくとも重要な指標について) 好調な発表が相次いだ。週間新規失業保険申請件数は前週の 361,000 から 348,000 へと減少したが、これは 2008 年 3 月以来の低水準である。同数値が 350,000 を切るのはほぼ 4 年ぶりであり、投資家もこれを歓迎した。フィラデルフィア FED 景況指数は 9.0 から 4 カ月来の高水準 10.2 に改善し、製造業の好調さを証明した。これに対して住宅市場は出遅れ気味であり、住宅着工と建築許可件数は何れも予想を下回った。失業保険申請件数の減少で FED の資産購入に対する圧力は弱まるが、より重要なのは職の喪失ではなく雇用の増加である。もちろん失業保険申請の減少自体は朗報であるが、FED が心底期待するのはより多くの労働者が職を得ることであり、そのためには来月の非農業部門就業者数の発表を待たなければならない。労働市場では未だ「疑問の余地のない」回復は見られておらず、これが FED が景気回復の速度に不満を持つ所以である。明日は消費者物価の他に景気先行指標が発表される。米国株価の上昇や失業保険申請件数の減少を反映し、先行指標の改善が見込まれる。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適用している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録 (関東財務局長 (金商) 第 268 号) および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp © 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複製・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212